

第４回大網白里市総合計画審議会 議事要旨

日 時：令和７年１１月５日（水） 午後２時００分～２時５０分

場 所：中部コミュニティセンター２階視聴覚室

傍 聴：１名

<委員名簿>

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	市議会議員	大網白里市議会	議 長	小倉 利昭	
2	学識経験者	城西国際大学	教 授	渡邊 修朗	
3		千葉大学	教 授	関谷 昇	
4		山武郡市医師会	副会長	錦織 吉宏	欠席
5		山武地域振興事務所	所 長	高岡 恭子	
6		山武土木事務所	所 長	田中 武彦	
7	関係諸団体の代表 及び職員	大網白里市教育委員会	教育長職務代理者	今井 克典	
8		大網白里市農業委員会	会 長	内海 亮一	
9		大網白里市消防団	副団長	吉田 崇重	欠席
10		大網白里市区長会	会 長	鈴木 勲	
11		大網白里市社会福祉協議会	会 長	永野 和子	
12		大網白里市スポーツ協会	会 長	柏山 幸一	
13		大網白里市商工会	会 長	久我 一雄	
14		大網白里市観光協会	会 長	望月 昭宏	
15		大網白里市防犯組合	副組合長	鈴木 晟義	
16		みどりが丘保育園	園 長	中村 範枝	欠席
17	市民代表	公募委員		大塚 晃一	
18		公募委員		小西 一裕	
19		公募委員		齋藤 壽彌	
20		公募委員		松本 清資	

	区分	所属	役職	氏名	備考
1	事務局	企画政策課	課 長	飯高 謙一	
2		企画政策課	副課長	久保 崇	
3		企画政策課	班 長	齋藤 友康	
4		企画政策課	主任主事	田邊 正洋	

1. 開 会

(略)

2. 会長挨拶

会長

市の第6次総合計画後期基本計画策定のため設置された本審議会も予定としては今回で最後の審議会となる。

本日は、「大網白里市第6次総合計画 後期基本計画（案）について」、「第6次総合計画 後期基本計画に係るパブリックコメントの実施について」ご審議いただくほか、これまでにいただいた各委員からのご意見やご提言に基づき、事務局と調整の上、答申の案を作成したので、審議会として最終の答申をとりまとめたい。

3. 議 事

(1) 大網白里市第6次総合計画 後期基本計画（案）について

(資料3～5により事務局説明)

会長

事務局からの説明について、意見、質問等はあるか。

委員

資料3の116ページ、施策(2)地域施設の有効活用 ①地域施設の自主管理運営の推進において、「コミュニティ助成事業などを活用した地域コミュニティ施設の整備を促進する」とあるが具体的に何を整備するか決まっているのか。

事務局

コミュニティ助成事業については、これまで各地区の公民館整備等を行ってきたが、現在、具体的な施設整備の計画があるわけではなく、今後必要に応じて整備をしていくという意味合いで記載している。

委員

以前から、瑞穂地区にコミュニティセンターを建設するという話があったが、未だ建設されない。

今、具体的な施設整備の計画がないという話があったので、その点を確認したい。

市議会でも、この件の話は出ているが、市の中で優先順位がどのようになっているのか、市民には分からない。

どのような状況になっているのか、示すべきではないか。

事務局

確かに瑞穂地区からご要望をいただいているが、先ほど申し上げたのは、当該計画が終了したというわけではなく、今後、必要に応じて整備を行う可能性があるということ。

瑞穂地区のコミュニティセンターについては、今後がまだ具体的に決まっていないため、引き続き検討していくものと考えている。

委員

市議会を傍聴しているが、瑞穂地区のコミュニティセンターについては予算が措置され次第実施されるという内容を岡田議員が以前発言しており、予算措置の優先順位がどうなっているのかが心配。

皆さん知りたいと思うので、そういった点は明らかにした方が良いのではないかと。

事務局

これまで、本審議会においても市の財政状況等について説明してきたが、現時点でも芳しい状況ではない。

限られた財源をいかに有効に活用していくかという点で、直ちに新たな施設整備をするというのは難しい状況にある。

そのため、市では公共施設等総合管理計画を定め、公共施設の見直しや、必要性の高い施設の機能の確保などを進めており、今あるものを活用しながら、市民ニーズに対応している。

瑞穂地区のコミュニティセンターの件については、以前からご要望があり、市でも様々な検討を進めているところではあるが、今この場でいつ頃整備するということは申し上げられない。

会長

そのほか意見等なければ、副会長の意見を伺いたい。

副会長

これまで議論を重ねられて、内容は固まっており、計画書の文面は基本的にこの内容で良いと思うが、私からは今後の運用という点で、ポイントになるところを申し上げる。

ひとつは、行財政運営。資料3のページで申し上げると、130ページの「財政運営」で、厳しい財政状況ということが述べられている。

財政調整基金、いわゆる貯金にあたるものだが、これがほとんどない。また、経常収支比率については、端的に申し上げれば、自由に使えるお金がほとんどないという状況のため、新しく何かするということが基本的にはできないというのが現状である。

だからこそ、どのように財政運営を効率よく進めて無駄を省いていくのか、或いは重点施策というものをよりクリアにしながら強弱をつけていく、ということが問われてくる。

もうひとつ、今後の運用の中で問われるのは、自主財源の確保ということで、歳入をどのように増やしていくのか本気で考えていかなければ難しい時代になっているという印象がある。

本計画は、後期基本計画なので、この5年間でその辺りをどうしていくのか考えていくということになると思うので、大枠は現段階で変える必要はない。

実際は、どのように確保していくのか、特に歳入の部分で、

例えば、国からの補助金というのはいろいろあるわけだが、今、補助金のあり方も大きく変わっており、自治体が企画を立てて、応募していくものが主となっている。

要するに、国は自治体を競争させてるわけだから、それに乗るような形で、様々な分野における補助金獲得に努めていかざるをえない。

どの自治体にも申し上げているが、いわゆる自主企画、今地方創生ということで、非常に大きな動きになっているが、待っててもお金はこないという状況。

先進自治体はどんどん分野を超えて、様々な地方創生の取組を創出しており、そういった企画を色々な形で作っていく、どんどん財源を確保していくということが、運用の中で特に問われているように思う。

また、合わせて企業誘致についても書かれているが、そういったいろんな課題解決に活かせるリソースをどのように確保していくのか。

例えば、子育て支援については、大網白里市ではこういうことやりたいんだというものがあれば、それに協力してくれる民間企業などを片っ端から当たっていく姿勢が間違いなく問われてくる。

待ってても企業は協力してくれないので、市としてどういった形で働きかけて、様々な技術であったり、人的リソース、資金やネットワークなど、そういったものをかき集めていく姿勢がこれからますます問われていくということを申し上げておきたい。

そして、もう一点。協働やコミュニティについても、資料3の110ページ以降に掲げられているが、私がこれまで大網白里市と関わってきた中で、今後もっと強化すべきだと思っているのはコミュニティの工夫。

地域コミュニティは様々な言い方をされていて、現状では、区や自治会を中心としたコミュニティのことは掲げられているが、コミュニティとは本来もっと重層的なものである。

様々な主体が連携し合い、地域内外の人たちが関わり、いろんな関係性を通じて、まちづくりに活かせる力をどう創出していけるか。

これはまさに、今、第1の課題と言っても過言ではない。

そういった様々な力を結びつけていくという運用がこれからできるかどうか。

これは、福祉であろうと、教育であろうと、高齢者の問題であろうと、色々な分野を横串にして問われてくる。

ただ、そういったコミュニティの重層的な環境づくりや、各種団体、多世代と繋がり、コミュニティを創り出していく場や機会が圧倒的に少ないというのが今の実情。

どの自治体にも多様な人たちが暮らしているが、これらの繋がりが無いという点が根本的な問題として存在する。

異世代、異分野がどのくらい交わっているのか、各種団体がどのくらい連携しあっているのか。こういった点に積極的に取り組んでいかないと、まちづくりの力は間違いなく落ちていってしまう。

計画書にはある程度書かれているが、もっと各方面を繋ぐような、そういう取り組みを運用の中で相当やっていかなければ厳しい時代に突入しているということは予想されるので、

その点について強調させていただく。

会長

それでは、意見等はよろしいでしょうか。

委員

資料3の131ページ。ふるさと納税の寄附額合計が成果指標に掲げられているが、これは、純然たる寄附額のことか、それとも経費等を差し引いた額なのか。

事務局

返礼品の費用も含めた寄附額となる。

よって、おおよそこの金額の半分が純粋な収入になるという考えである。

会長

それでは、そのほか質問等がなければ、事務局から示された計画案を、原案の通り承認するということによろしいか。

賛成の委員は、挙手をお願いしたい。

(総員挙手)

会長

それでは、大網白里市第6次総合計画 後期基本計画（案）は承認とする。

(2) 第6次総合計画 後期基本計画（案）に係るパブリックコメントの実施について
(資料6により事務局説明)

会長

事務局からの説明について、意見、質問等はあるか。

(意見等なし)

(3) 大網白里市総合計画審議会 答申（案）について
(資料7により事務局説明)

会長

事務局からの説明について、意見、質問等はあるか。

(意見等なし)

会長

意見等なければ、事務局から示された答申案を、原案の通り承認するということによろしいか。

賛成の委員は、挙手をお願いしたい。

(総員挙手)

会長

それでは、大網白里市総合計画審議会 答申（案）は承認とする。

後日、審議会を代表して、市長への答申を行う。

審議会の議事は、以上となる。

4. 閉 会

事務局

本日の会議をもって、当審議会の全ての日程が終了となる。

議事で説明した通り、11月25日からパブリックコメントを実施し、その後、今年度中に後期基本計画を策定する。

これにて、第4回大網白里市総合計画審議会を閉会とする。

以上